

急性膵炎に対するトロンボモデュリンアルファの有用性の検討に関する研究

1. 研究の対象

2011年1月～2016年3月までの間に急性膵炎と診断され治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

急性膵炎は年間60000名の患者さんがおり、そのうち重症急性膵炎は約20%、その致死率は約10%と言われてる。近年トロンボモデュリンアルファが急性膵炎の治療に有効である可能性が出てきた。ただし、トロンボモデュリンアルファが本当に膵炎治療に有効であるかは不明な点が多くある。今回の研究では膵炎に治療を受けた患者さんのカルテデータから、トロンボモデュリンアルファが膵炎の治療に有効であることを明らかにすることを目的とした。過去に急性膵炎に対して治療を行った患者のうちトロンボモデュリンアルファの使用の有無で2群に分け、その治療効果を比較検討する。またその他の集学的治療（経腸栄養や動注療法など）の有用性を検討する。浜松医科大学医学部附属病院第2内科を代表施設とし、当院、浜松医療センター、市立島田市民病院での多施設共同研究である。

研究機関は倫理委員会承認日から平成34年6月までを予定している。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へは紙媒体の郵送による情報提供を行います。共同研究機関以外の外部へは資料・情報を提供しません。

5. 研究組織

浜松医科大学 肝臓内科 伊藤潤 川田一仁 小林良正

市立島田市民病院 消化器内科 金子淳一

聖隷浜松病院 消化器内科 長澤正道

県西部浜松医療センター 消化器科 住吉信一

磐田市立総合病院 消化器内科 高橋百合美

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

磐田市立総合病院 消化器内科 高橋百合美

研究代表者：

浜松医科大学 肝臓内科 小林良正